

2014年2月14日

変化する住宅業界を見据えた新しい3次元建築設計システムの開発に着手

福井コンピュータアーキテクト株式会社

福井コンピュータアーキテクト株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：林治克）では、3次元建築設計システム「ARCHITREND Z」のシステムアップ商品となる建築設計向けの「新しい3次元建築設計システム」の開発に着手しました。

変化する住宅業界を見据えた「新3次元建築設計システム」

2013年度、新設住宅着工戸数が100万戸に届く勢いで活況を見せる住宅業界ですが、2014年度以降は段階的な消費税増税による着工件数の変動やローコスト住宅と高付加価値住宅への2極化などが予想されており、今後さらに新築需要が縮小する中でストック型社会に向けた住宅の「長寿命化」、「省エネ化」の流れが加速しようとしています。

また、社内に目を向ければ2014年4月に迫るWindowsXPのサポート期限終了など、旧態化したシステムを使い続けることによる作業効率の低下やリスクの増加など社内システムの見直しも急務となっています。

今このように激変する住宅業界を生き抜くためには基本的な事業戦略の見直しをはじめとして、「生産性の向上」「業務の標準化」「リスク回避」など業務やシステムの改革が求められています。

弊社ではこのような建築業界のニーズに応えるべく、発売から10年に渡りご愛顧いただいております3次元建築設計システム「ARCHITREND Z」の後継商品の開発に着手しました。新システムでは運用に関する「手間」「無駄」「リスク」をゼロにすることをコンセプトに、提案から設計・積算業務における大幅な業務効率化を実現し、クラウドとタブレット端末の活用により、住宅提案に必要な情報をすべて3次元化し、提案するお客様に合わせたバーチャルショールームの実現をテーマに、誰にでも高品質でリアリティーのある新しい家づくりの実現を目指しています。

新3次元建築設計システムの発売は、2015年1月を予定しています。

- このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータアーキテクト株式会社 事業推進部 TEL.0776-67-8850

福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 ホームページ：<http://www.fukuicompu.co.jp/>